

3. 連結業績予想に関する定性的情報

<2009年3月期の連結見通し>

2009年3月期の業績見通し、設備投資・減価償却費・研究開発費の見通しは次のとおりです。

【 連結業績見通し 】

(単位:百万円, %)

科目	期	2008年10月発表 2009年3月期 見通し	2008年3月期 実績	前期比 増減額	前期比 増減率	2008年7月発表 2009年3月期 見通し
	売上高		795,000	866,285	△71,285	△8.2
営業利益		35,000	87,175	△52,175	△59.9	69,000
税引前当期純利益		31,600	91,505	△59,905	△65.5	73,500
当期純利益		25,000	71,461	△46,461	△65.0	55,500

【 設備投資・減価償却費・研究開発費見通し 】

(単位:百万円, %)

科目	期	2009年3月期 見通し		2008年3月期 実績	
		金額	売上高比	金額	売上高比
設備投資		85,000	-	84,312	-
減価償却費		77,000	9.7	71,297	8.2
研究開発費		54,000	6.8	57,387	6.6

<注記>

連結業績見通しを検討したところ、米国に端を発した金融危機が世界の实体经济に悪影響を与えており、当社想定の実業環境が期首時点より悪化しております。そのため、通期業績見通しを修正しました。

(主要製品の見通し)

* 電子材料製品及び電子デバイス製品

電子材料製品及び電子デバイス製品の市場をみますと、需給環境は期首時点の想定よりも悪化しており、これは下期も続くと予想しています。そのため今後も厳しい価格下落が続き、通期での市場は前年と比較して縮小すると想定し販売計画を見直しました。

* 記録デバイス製品

2009年3月期のHDDの需要は数量ベースで拡大すると予想しております。したがって、HDD用ヘッドの需要も同様に拡大すると想定しております。しかし、HDD用ヘッドに対する価格下落圧力は高まると想定して販売計画を見直しました。

(為替の見通し)

* 当第3四半期以降の平均為替レートは対米ドル100円を想定しております。

(EPCOS社の株式取得について)

当社は、EPCOS社(本社:ドイツ、社長兼CEO:Gerhard Pegam)を10月17日に連結対象子会社としました。なお、今回の連結業績見通しにはEPCOS社の業績見通しを反映しておりません。

【 将来に関する記述についての注意事項 】

この資料には、当社または当社グループ(以下、TDK グループといいます。)に関する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、認識、評価等といった、将来に関する記述があります。これらの将来に関する記述は、TDK グループが、現在入手している情報に基づく予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として作成しているものであり、既知または未知のリスク、不確実性、その他の要因を含んでいるものです。従って、これらのリスク、不確実性、その他の要因による影響を受けることがあるため、TDK グループの将来の実績、経営成績、財務状態が、将来に関する記述に明示的または黙示的に示された内容と大幅に異なったものとなる恐れもあります。また、TDK グループはこの資料を発行した後は、適用法令の要件に服する場合を除き、将来に関する記述を更新または修正して公表する義務を負うものではありません。

TDK グループの主たる事業活動領域であるエレクトロニクス市場は常に急激な変化に晒されています。TDK グループに重大な影響を与え得る上記のリスク、不確実性、その他の要因の例として、技術の進化、需要、価格、金利、為替の変動、経済環境、競合条件の変化、法令の変更等があります。なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません。